

研究概要等

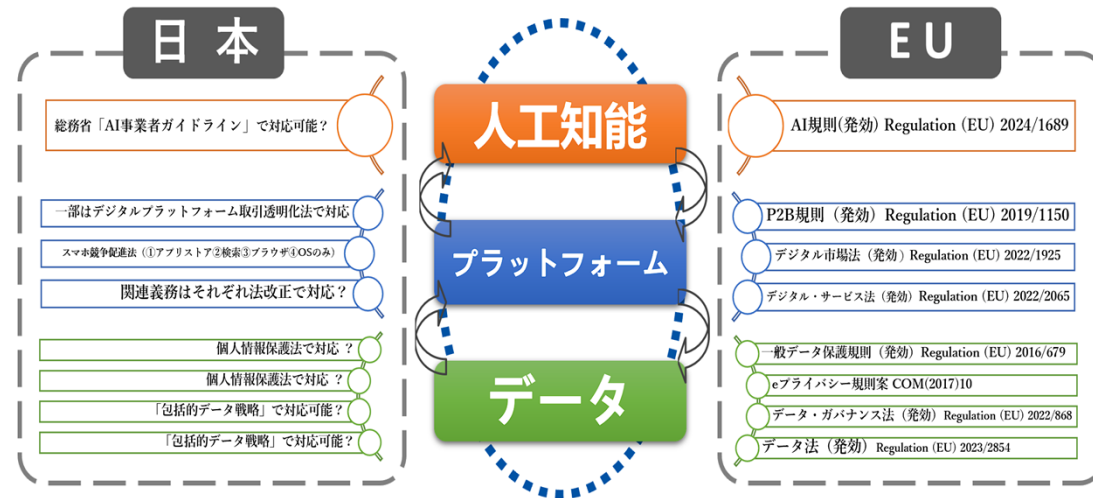
- デジタル法制の新規立法（提案）やその運用の状況について、特に「**データ・プラットフォーム・AI**」の3つの相互関連の要素への対応に焦点を当て、近年法改正や新規立法が進められるEUのデジタル法制の全体像と各種法制の相互関係を専門分野横断的な研究により解明すると共に、法学と経済学、情報学の観点から、我が国の法政策のあり方に対する示唆と立法提案を行う。

これまでの成果等

- 招待講演（国際招待講演のみを掲載）**
 - 林秀弥「Japan's Smartphone Software Competition Promotion Act 2024」（高麗大学）
 - 林秀弥「AI Literacy – A Discussion in Japan」（第24回 ITS Biennial Conference）
- 著書・論文の執筆（初年度は、主にプラットフォーム法制に着目）**
 - 林秀弥「国境を跨ぐデジタルサービスの提供にかかる規制の域外適用のあり方」（日本国際経済法学会年報33号、2024年）
 - Shuya Hayashi & Kunlin Wu, Cloud Computing and Competition Law (in Ruth Taplin et al eds., Competition Law, Regulation and Digital Platforms: Japan, China, UK, EU and USA, Routledge Publishing (2025))
- 多元的視点での研究遂行（他国の経験・知見を「他山の石」とする）**
 - タイ・国家放送通信委員会（NBTC）委員長等との**意見交換**
 - 名古屋大学とタイ・NBTCとの**学術交流協定（MOU）の締結**（進行中）

今後の計画・構想等

- エビデンスに基づく規制策定の基盤となる経済学と情報学の観点からの考察
- デジタル分野における立法・政策・実務並びにその学術的研究の方法論



第24回 ITS Biennial Conferenceでの発表様子

